



2022年4月6日
Stellantisジャパン株式会社

PEUGEOT e-208/e-2008 を仕様変更 充電走行距離をそれぞれ*WLTC 395km/380kmへ延長

- 効率の改善により、一回当たりの充電走行距離を延長
- より購入しやすく、CEV 補助金が増額
- 新たにトグルタイプのオートマチックセレクターを採用



PEUGEOT e-208 / e-2008 は、プジョーが推し進める電動化戦略 “Power OF Choice” のもと、2020 年に国内導入を開始しました。コンパクトなボディサイズや価格設定などが高い評価を受け、2021 年の販売実績は、それぞれシリーズ全体の約 11% / 13%を占めるまでになりました。

また、新開発の EV 専用モジュラープラットフォーム “e-CMP (エレクトリック・コモン・モジュラー・プラットフォーム)” を採用し、高効率電動モーターと 50kWh の大容量リチウムイオンバッテリーパックを搭載しています。これにより、ガソリンエンジンモデルとほぼ同じ広さの室内空間を実現。パワーユニットは、最高出力 100kW (136ps)、最大トルク 260Nm を発揮し、電気モーターならではの

トルク感とダイレクトな加速フィール、静粛性の高いドライビング体験を提供します。

この度の仕様変更では一回当たりの充電走行距離を延長し、それにより CEV 補助金の増額を達成しました。また、ガソリンエンジンモデルと同様に、新デザインのオートマチックセレクターを採用したことで操作性が向上し、センターコンソールまわりのデザイン、スペース効率を改善しています。EV としての使い勝手とともに、コンパクトカーとしての実用性を高めました。

● 効率の改善により、一回当たりの充電走行距離を延長

ギア比の変更やヒートポンプの効率改善により、一回当たりの充電走行距離を延長しました。

e-208 : 現行 380km → 395km へ 15km アップ (WLTC モード)

e-2008: 現行 360km → 380km へ 20km アップ (WLTC モード)

● より購入しやすく、CEV 補助金が増額

今回仕様変更された e-208 および e-2008 は、令和 3 年度補正予算「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」の、電気自動車における補助上限額 65 万円が交付されます。※令和 4 年度当初予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」も同様に対象となる見込みです。

● 新たにトグルタイプのオートマチックセレクターを採用

208、2008 のガソリンエンジンモデルと同様、指先だけでスムーズにシフトチェンジが可能なトグルタイプのオートマチックセレクターを採用しています。操作性を向上するとともに、センターコンソールのデザインを変更したことでスペース効率を改善し、収納容量を拡大しました。さらに最新世代 3D i-Cockpit によるモダンなインテリアの洗練度が、より一層高められています。



e-208

モデル	グレード名	車両本体価格 (消費税込)
e-208	Allure	¥4,255,000
e-208	GT	¥4,646,000

e-2008

モデル	グレード名	車両本体価格（消費税込）
e-2008	Allure	¥4,679,000
e-2008	GT	¥5,098,000

*WLTC : Worldwide harmonized Light vehicle Test Cycle (燃費テストの国際基準)

以上

お問い合わせ先（報道関係者）
Stellantis ジャパン株式会社 広報部
TEL: 03-6858-5420（広報部代表）
メディアサイト：www.stellantis.jp